

モモ「まどか」の収穫開始適期は満開後 112 日頃である

福島県農業総合センター 果樹研究所 栽培科

1 部門名

果樹－モモ－栽培

2 担当者名

安達義輝、三田村諭、遠藤敦史、南春菜、渡邊善仁、増子俊明

3 要旨

モモ「まどか」は、「あかつき」に続いて収穫される中生の大玉品種である。着色が極めて良好なことから、外観での収穫適期の判断が難しく、果実硬度が高く酸味が強く感じられる未熟果のまま収穫されることが問題となっている。過去5か年(2015～2019年)の成熟調査結果から、「まどか」の収穫開始適期は満開後112日頃と判断される。

- (1) 「まどか」の果実硬度の推移は「あかつき」に類似し、満開後112日頃に「あかつき」の収穫適期に相当する果実硬度(2.2～2.3kg)となる(図1)。
- (2) 「まどか」の果皮中アントシアン含量は、「あかつき」に比較して増加が早い(図2)。
- (3) 着色にとらわれず、成熟日数に基づき、硬度や酸味を目安とした食味を確認したうえで、収穫を判断することが望ましい。

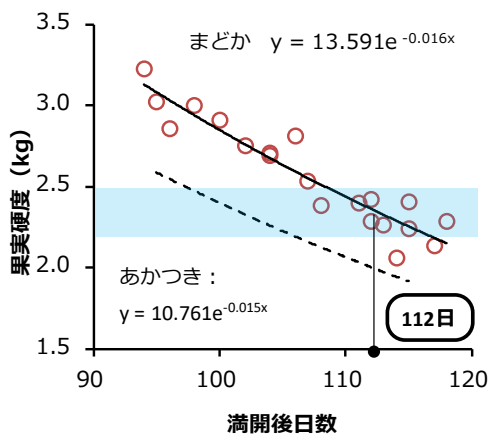


図1 「まどか」の果実硬度の推移
網掛けは、「あかつき」の収穫平均(2.2～2.5kg)
破線は、「あかつき」の果実硬度の推移

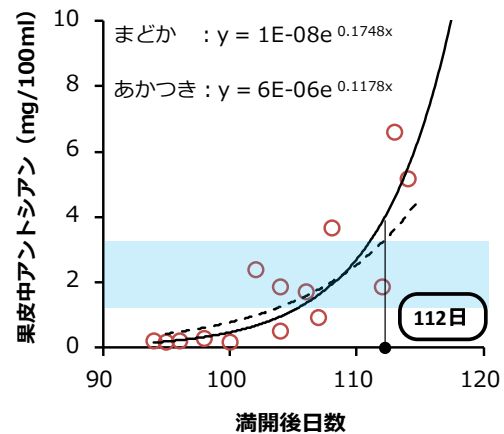


図2 「まどか」の果皮中アントシアン含量の推移
網掛けは、「あかつき」の収穫平均(1.7～3.0mg/100ml)
破線は、「あかつき」のアントシアン含量の推移

4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 平成27年度～令和2年度
- (2) 研究課題名 果樹新品種及び一般品種の栽培特性等調査

5 主な参考文献・資料

なし